

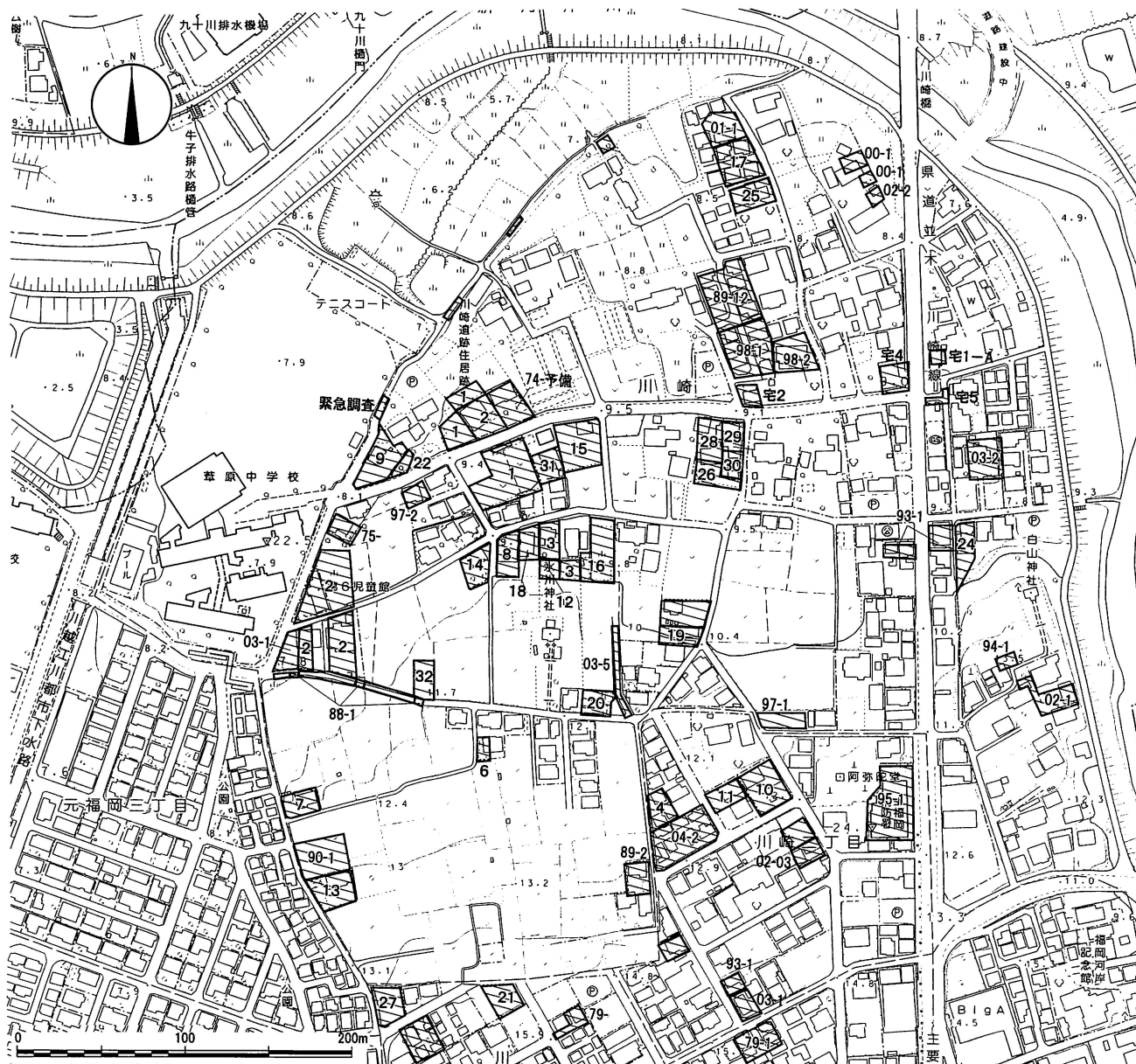
第2章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。台地の幅は400～500 m、台地の基部から先端へ1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18 m、最北部では8 mを測る。遺跡の範囲は南北600 m、東西500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側基部に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917年（大正6年）台地の先端部で貝層が確認され1928年（昭和3年）の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来36ヶ所で調査が行われ、21ヶ所で遺構が確認されている。主たる時代と遺構は縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。



第4図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎 160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上福岡市遺跡調査報告書
1次	川崎 162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上福岡市遺跡調査報告書
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上福岡市遺跡調査報告書
2次	川崎 137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9、古墳住居跡6、奈良平安住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡第2次調査概報
3次	川崎 149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2(7.8)、奈良平安住居跡6(1.2.4～6.9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎 198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎 230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
4次	川崎 2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋蔵文化財の調査(Ⅱ) 埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
5次	川崎 1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
1979年度試掘(清見)	清見 4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
6次	川崎 102-5	1979.12.3～8	30	アパレル家屋	縄文前期住居跡2、縄文土器片、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
7次	川崎 124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構無し、平安土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添 219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口 172-1.2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋蔵文化財の調査(Ⅷ)
10次	川崎 224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅹ)
11次	川崎 2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1988年度試掘	市道 402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1989年度試掘(Ⅰ)	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
1989年度試掘(Ⅱ)	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
12次	川崎字宮前 149-4.5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
13次	大字川崎字宮前 122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
1990年度試掘(Ⅰ)	大字川崎字宮前 122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認調査	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
14次	大字川崎字宮前 145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1、貝塚、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
15次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7、土坑1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1992年度試掘(Ⅰ)	大字川崎字山向 9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1993年度試掘(Ⅰ)	川崎 2-2-10.11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1993年度試掘(Ⅱ)	川崎 1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1994年度試掘(Ⅰ)	川崎字台 258 他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1995年度試掘(Ⅰ)	川崎 2-7-2.3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
16次	川崎字宮脇 150-2.3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4・堀立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年度教育要覧
17次	川崎字宅地添 204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
18次	川崎字宮脇 148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1997年度試掘(Ⅰ)	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1997年度試掘(Ⅱ)	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1997年度試掘(Ⅲ)	川崎字宅地添 199-1.2.5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	遺構・遺物無し	9年度教育要覧
1998年度試掘(Ⅰ)	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1ほか	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
市道 402号線2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年度教育要覧
2000年度試掘(Ⅰ)	川崎大字宅地添 209の一部	(2000.6.19～22)	123	個人住宅	貝塚の一部	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
範囲確認調査	川崎字宅地添 209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
19次	川崎字宮脇 157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2001年度試掘(Ⅰ)	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29.30)	825	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2002年度試掘(Ⅰ)	川崎 249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2002年度試掘(Ⅱ)	川崎 210-1.2の一部	(2002.10.28.29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2002年度試掘(Ⅲ)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(Ⅳ)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(Ⅴ)	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164	道路築造	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2003年度試掘(Ⅰ)	川崎 137-1の一部	(2003.8.6.7)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2003年度試掘(Ⅱ)	川崎字宅地添 226-1.4	(2003.12.8.19)	381	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
宅地添地区5次	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年度教育要覧
2004年度試掘(Ⅰ)	川崎字宮脇 157-1の一部	(2004.6.14.15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
2004年度試掘(Ⅱ)	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
20次	川崎字宮脇 153-5	2005.11.28～12.2(11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内遺跡群1
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11)2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内遺跡群3
22	川崎 171-1.174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内遺跡群4
23	川崎字宮前 102-4.6	(2007.6.4)	240	個人住宅	工事着工済みのため工事立会い	市内遺跡群4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群4
25	川崎字宅地添 203 番1の一部、203 番3の一部	(2008.4.14)2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代堀立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内遺跡群6
26	川崎字宅地添 230 番5	(2008.4.21)2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内遺跡群6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内遺跡群6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～7.9)2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、土坑、ピット	市内遺跡群6
29	川崎字宅地添 230 番1	(2008.7.9～7.11)2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、溝3	市内遺跡群6
30	川崎字宅地添 230 番6	(2008.7.17)2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内遺跡群6
31	川崎字宮後 161 番5の一部、161 番地6	(2009.10.28)2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期住居跡2、奈良・平安時代竪穴住居跡2、ピット12	未報告
32	川崎字宮脇 140の一部	(2011.2.24～25)2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3、土坑2、建物部分本調査	未報告

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形() は推定	規模	炉 カマド K	設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1974	第1次 LN72	完掘	隅丸方形	760 × 730 × 40	炉	地床炉	60 × 50	○	N-60-E	3C 終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次 LN05	完掘	方形	390 × 320 ×	K			○	N-5-E	国分		"
3	1974	第1次 LN06	完掘	歪んだ方形	320 × 320 ×	K	東			N-13-W	9C 4 半期		"
4	1974	第1次 LN07	完掘	方形	320 × 320 ×	K	東	80 × 90	○	N-83-W	9C 中葉		"
5	1974	第1次 LN24	完掘	長方形	470 × 340 × 50	K	北	120 × 75	○	N-5-E	10C 1 半期		"
6	1974	第1次 LN25	完掘	方形	320 × 300 ×	K	北	40 × 40		N-42-E	9C 1 半期		"
7	1974	第1次 LN28	西側未掘	(長方形)	× 300	K	東	50 × 60	○	N-69-W	9C 3 半期		"
8	1974	第1次 LN71	東側7割未掘	(方形)	× 600								"
9	1975	第2次 LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次 LN92	部分	(長方形)							10C 1 半期		"
11	1975	第2次 LN72	完掘	隅丸方形	250 × 250 × 13	K	南	50 × 80		N-18-E	国分		"
12	1975	第2次 LN07	完掘	方形	720 × 720	K	北		○	N-32-E	6C 後半	ビット多数 土鍾	"
13	1975	第2次 LN04	完掘	方形	390 × 350	K	東	60 × 70	○	N-64-E	6C 前半	貯蔵穴有り	"
14	1975	第2次 LN05	完掘	長方形	450 × 370	K	北	100 × 80	○	N-1-E	10C 2 半期		"
15	1975	第2次 LN19	14 住に埋れる			K	東				9C 4 半期	支脚が立脚	"
16	1975	第2次 LN14	完掘	長方形	370 × 260	K	北	90 × 80	○	N-4-E	9C 3 半期		"
17	1975	第2次 LN12	南側未掘	長方形	700 ×						6C	紡錘車	"
18	1975	第2次 LN33	17 住と大きく重複し全体不明										
19	1975	第2次 LN06	完掘	隅丸方形	410 × 420	K	北東		○	N-45-E	6C 後半	良好	"
20	1975	第2次 LN22	完掘	長方形	410 × 330	K	北	120 × 120	○	N-29-W			"
21	1975	第2次 LN53	完掘	長方形	350 × 280	K	東	70 × 60	○	N-87-E	10C 2 半期	22 住を切る	"
22	1975	第2次 LN54	部分	方形	330 × 320	炉	地床炉				五領		"
23	1975	第2次 LN20	3/5	(長方形)	× 350	K	北		○	N-23-E	9C 2 半期	鍛冶工房跡	"
24	1975	第2次 LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50 × 70	○	N-43-W	鬼高		"
25	1977	第3次 1 号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次 2 号住居	完掘	長方形	350 × 330	K	北	× 70	○		国分	鉄製品多い	"
27	1977	第3次 4 号住居	(完掘)	長方形	350 × 400	K	東	170 × 110	○		国分		"、埋文調査 19
28	1977	第3次 5 号住居	(完掘)	長方形	350 × 320	K	東	120 × 90	○		国分		"、埋文調査 19
29	1977	第3次 6 号住居	4/5	正方形	440 ×	K	北	155 × 90	○		9C 4 半期	焼失家屋	"
30	1977	第3次 9 号住居	1/2	(方形)	415 ×				○		国分		"
31	1979	第6次 1 B 住居			340 ×				○		9C 2 半期		埋蔵文化財の調査Ⅱ
32	1979	第6次 2 号住居	1/3		340 ×	K	北→東	140 × 80	○		9C 1 半期	鉄製品多い	"
33	1984	宅地跡第 4 次 3 住	完掘	正方形	340 × 340	K	東	120 × 100	○		8C 3 半期		埋蔵文化財の調査Ⅶ
34	1990	第13次 1 号住居	1/2 ~ 1/3		390 ×	K			○		7C 後半		埋蔵文化財の調査 13
35	1990	第14次 2 号住居	南 1/2		340 ×	K	東		○		9C 1 半期		"
36	1991	第15次 1 号住居			395 × 285	K	北東				9C ~ 10C		埋蔵文化財の調査 14
37	1991	第15次 2 号住居		正方形	380 × 380	K	東				9C 中葉		"
38	1991	第15次 3 号住居	完掘	長方形	265 × 430	K	南東		○		9C 初頭		"
39	1991	第15次 4 号住居	1/2	正方形	580 ×	K	東		○		8C 末 ~ 9C 初頭		"
40	1991	第15次 5 号住居	3/4		280 ×	K	北		○		9C 前半 ~ 中		"
41	1991	第15次 6 号住居		正方形	425 × 270	K	北		○		8C 後半	3536 住と重複	"
42	1991	第15次 7 号住居	1/2	正方形	570 ×	K	北		○		9C 前半	緑釉陶器、 焼失家屋	"
43	1994	第16次 1 号住居	1/2		450 ×				○		9C 前半 ~ 後半		未報告
44	1994	第16次 2 号住居	北西隅のみ								9C 前半 ~ 後半		"
45	1994	第16次 5 号住居	2/3		440 ×	K	東		○		9C 前半 ~ 後半		"
46	1994	第16次 6 号住居	カマドのみ			K	東						"
	1994	第16次 1 号掘立	2/3	長方形									"
	1994	第16次 2 号掘立	西側柱のみ	長方形	南北 2 間						9C 前半 ~ 後半	42 住と隣接	"
	1994	第16次 3 号掘立	完掘	長方形	南北 3 間 東西 2 間						"	"	"
	1994	第16次 4 号掘立	完掘	長方形	南北 3 間 東西 2 間						"	"	"
	1994	第16次 5 号掘立	1/2	長方形	南北 2 間						"	"	"
	1994	第16次 6 号掘立	完掘		南北 3 間 東西 2 間						"	"	"
47	1996	第17次 1 号住居	完掘	長方形	400 × 400	K	東		○	国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査 19	
48	1996	第18次 2 号住居	完掘	長方形	300 × 300	K	東		○	国分		埋蔵文化財の調査 19	
49	2001	第19次 1 号住居	1/2		360 ×	K					9C 前半		埋蔵文化財の調査 24
50	2005	第20次 1 号住居	完掘	長方形	320 × 350	K	北西		○	N-45-W	7C 前半 ~ 中		市内遺跡群 1
51	2006	第21次 1 号住居	完掘	方形	410 × 365 × 10	K	東	145 × 125	○	N-106-E	9C 後半		市内遺跡群 3
	2008	第25 地点 1 号掘立		長方形	南北 2 間 東西 2 間								市内遺跡群 6
52	2008	第26 地点 H28 号住居	完掘	方形	349 × 316 × 33	K	北	95 × 83	○	N-16-E	9C 後半		"
53	2008	第26 地点 H29 号住居	北側のみ	(方形)	431 × 205 × 24	K	北	70 ×	○	N-16-E	9C 後半		"
54	2008	第26 地点 H30 号住居	完掘	長方形	424 × 296 × 20	K	北	98 × 71	○	N-4-E	8C 後半		"
55	2008	第28 地点 H31a 号住居	北側のみ	(方形)	(390) × (233) × 15	K	北	88 × 84		N-19-E	8C 中 ~ 後半		"
56	2008	第28 地点 H31b 号住居	北側のみ	(方形)	(404) × 325 × 2				○	N-18-E			"
57	2008	第28 地点 H32 号住居	完掘	長方形	357 × 295 × 24	K	東	108 × 80	○	N-105-E	8C 中 ~ 後半		"
58	2008	第29 地点 H33 号住居	北東のみ	(方形)	(214) × (205) × 16	K	東	(65) × (65)	○	N-98-E	8C 後半 ~ 9C 初頭		"
59	2008	第29 地点 H34 号住居	完掘	方形	(378) × 372 × 12	K	北	71 × 90	○	N-16-E	9C 後半	墨書土器	"
60	2008	第30 地点 H35 号住居	完掘	長方形	294 × 232 × 26	K	東	141 × 88	○	N-104-E	9C 前半		"
61	2008	第30 地点 H37 号住居	完掘	方形	415 × 414 × 21	K	北	88 × 140	○	N-16-E	9C 後半	灰釉陶器	"
62	2008	第30 地点 H38 号住居	1/2	(方形)	375 × (105) × 17				○	N-5-E	9C 後半	墨書土器	"



第5図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

VI 川崎遺跡第 29 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 25 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出している。申請地の北側の一部は個人住宅建設に伴い 1978 年 5 月に調査済みで、溝 1 条を検出した。だが、申請地の南側は未調査のため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 7 月 9 ～ 11 日に行なった。調査区南側を重機により表土除去後、人力による表面精査を行ったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40 ～ 50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 7 月 14 日から同年 8 月 22 日まで行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡 2 軒、溝 3 条、土坑、ピットを検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H 58 号住居跡 (旧 H 33 号住居跡)

【位置】調査区の南西隅に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。住居跡の西側と南側はブロック塀の下に入り規模不明。3.5 m 西側に H57 号住居跡、0.8 m 東側に H59 号住居跡、7.0 m 南側に H60 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 98° - E、東壁南側に竈を備える。平面形態は方形か長方形を呈する。規模は主軸方位の東西は 2.14 m 以上、南北 2.05 m 以上、確認面からの深さ 0.16m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃烧部は壁外に張り出して掘られているが、奥壁から煙道部は攪乱で壊される。袖の粘土は僅かに残る。幅は 0.65 m を測る。近世以降の攪乱が著しい。

【周溝】北壁と東壁際に浅い溝が巡る。幅 22 ～ 26 cm、深さ 8 ～ 11cm。

【床・壁】竈手前部分の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、周囲が深くなる。

【出土遺物】竈内から多量に出土した。須恵器坏、土師器甕・台付甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 9 世紀前半と推定される。

② H 59 号住居跡 (旧 H 34 号住居跡)

【位置】調査区の南側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。溝 1 に竈の一部や近世以降の攪乱で床面が壊されている。0.8 m 西側に H58 号住居跡、5.2 m 南側に H60 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 16° - E、北壁東端に竈を備える。平面形態は方形、規模は主軸方位の南北 3.78 m、東西 3.72 m、確認面からの深さ 0.12m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃烧部は壁外に張り出して掘られている。左側の袖部に粘土が残る。左壁が一部焼けて赤化する。奥壁は焼けていない。袖からの奥行き 0.71 m、幅 0.90 m。竈内部の幅 0.50 m。深さ 0.39 m。竈内に粘土と焼土が堆積する。竈の手前に窪みがある。

【床・壁】貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘り方は、凹凸が著しい。

【出土遺物】竈内に集中箇所がある。須恵器坏、土師器甕等が出土した。

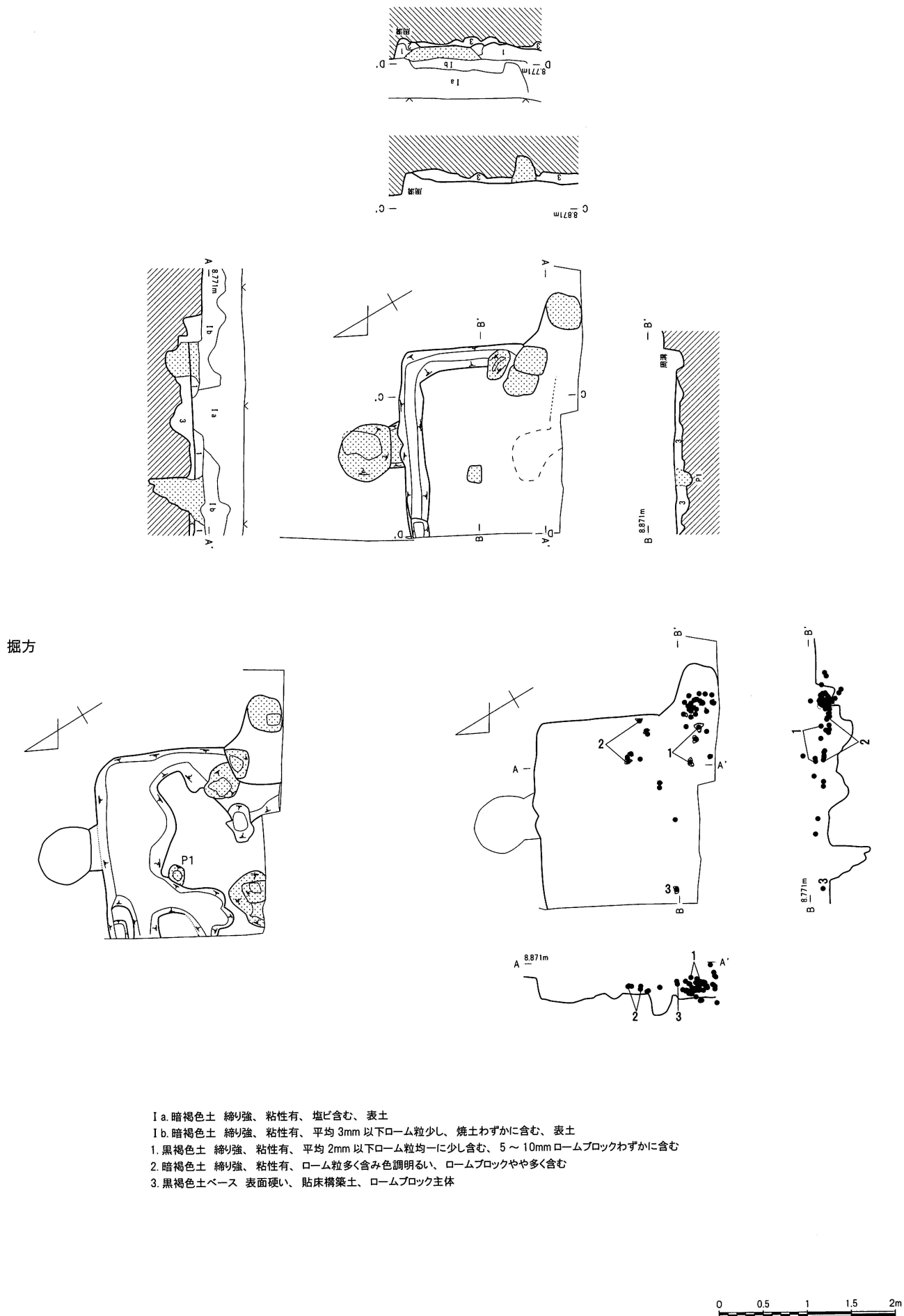
【時期】出土土器の特徴から 9 世紀前半と推定される。

③ 溝

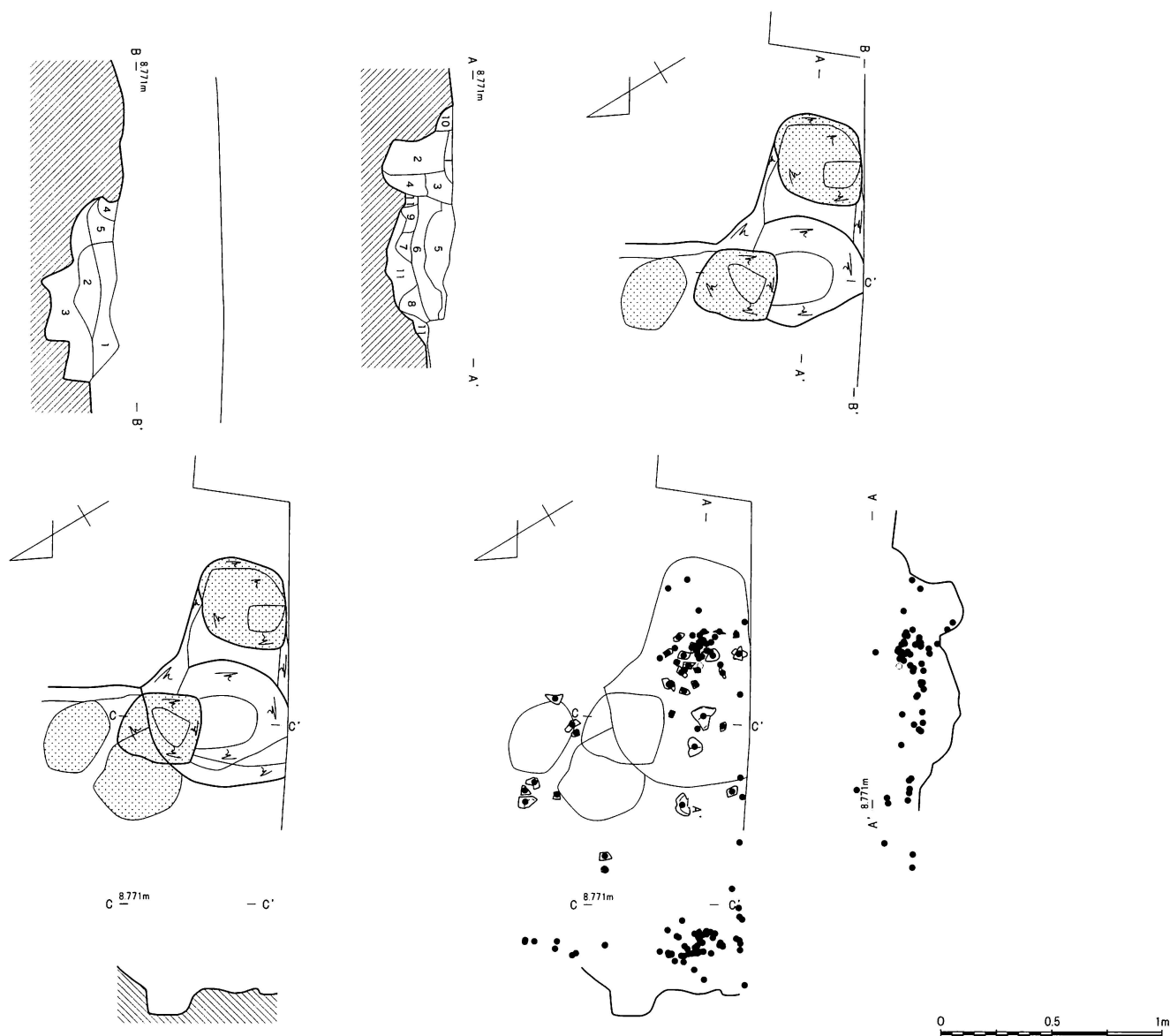
南北方向の溝が走る。溝 1 は出土物から近世以降。溝 2 は出土物から平安時代。

第 16 表 川崎遺跡第 29 地点遺構一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
溝 1a	南北方向 16.5 m 以上の直線、断面浅い鉢状	55 ～ 145	22 ～ 95	15 ～ 34	東側に掘り込みあり
溝 1b	南北方向 6.2 m 以上の直線、断面「U」字状	62 ～ 84	25 ～ 38	26 ～ 44	溝 1a より旧
溝 2	南北方向 9 m 以上の直線、断面「U」字形	50 ～ 70	15 ～ 40	15 ～ 30	南側が深い、断面「U」字形、須恵器出土、平安時代



第 31 図 川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡・掘方・遺物出土状況図 (1/60)



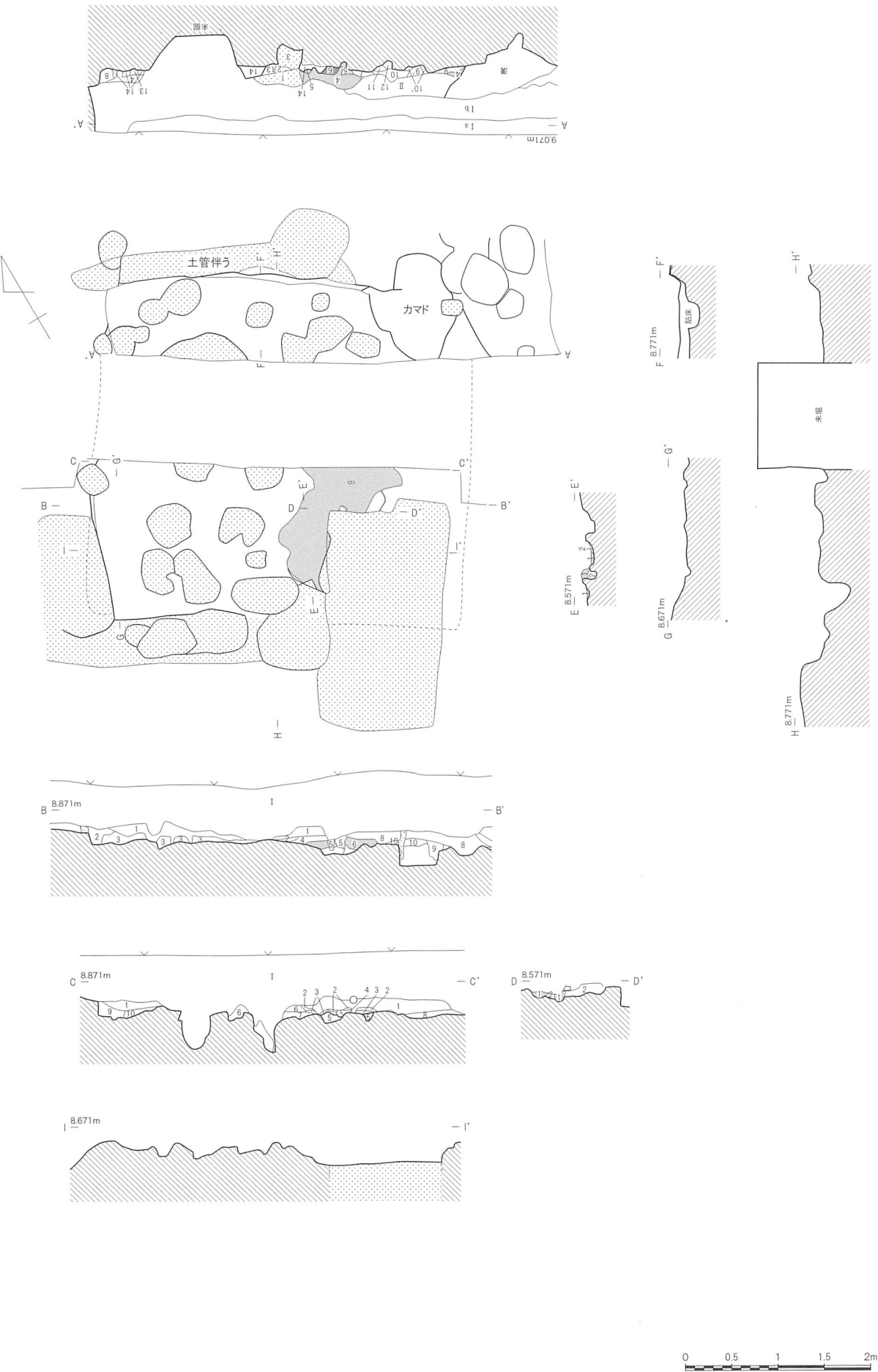
A-A'

1. 暗褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、5 ～ 20mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm 大ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し、土師器片、3mm 大炭化物わずかに含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、20mm 大ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒やや多く含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、粘土分を含み、色調明るい、2 ～ 10mm 焼土やや多く、5mm 以下ローム粒少し含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、5mm 以下焼土少し、30mm 大灰色粘土少し含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、平均 2mm 以下ローム粒やや多く含み、色調明るい
8. 黒褐色土 締り硬い、粘性有、しみ状の褐灰色土含み色調明るい、5mm 以下ハードローム粒少し含む
9. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック、ローム粒主体
10. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒を多く含み黄色みがかかる、1 ～ 5mm ハードローム粒やや多く含む
11. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック（大型）多く含む

B-B'

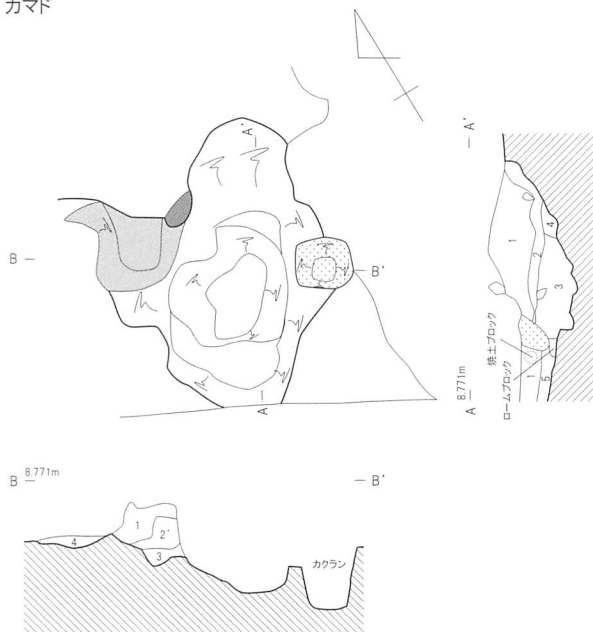
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、5mm 以下焼土、40mm 大ロームブロックわずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、粘土混じりの黒褐色土、色調明るめ、5～10mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下焼土少し含む
3. 黒褐色土ベース 締り有、粘性有、30mm 以下ロームブロック主体
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒、5mm 以下焼土やや多く含む
5. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、2～10mm ソフト質ローム少し含む

第 32 図 川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡竈 (1/30)



第 33 図 川崎遺跡第 29・30 地点 H59 号住居跡 (1/60)

カマド



カマド A-A'

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、しみ状に灰色粘土含む、3mm 以下焼土やや多く、3mm 以下ローム粒少し含む、10mm 大ロームブロック、15mm 大焼土ブロックわずかに含む
2. 赤灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土ベースに焼土分含み、赤味帯びる、2mm 以下焼土・ローム粒やや多く含む
3. 褐灰色土 締り強、粘性有、5～20mm ロームブロック多く、5～10mm 焼土やや多く含む
4. 赤褐色土 締り強、粘性有、焼土主体、上面は硬化している
5. 黒褐色土 締り強い、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む、3mm 以下焼土わずかに含む

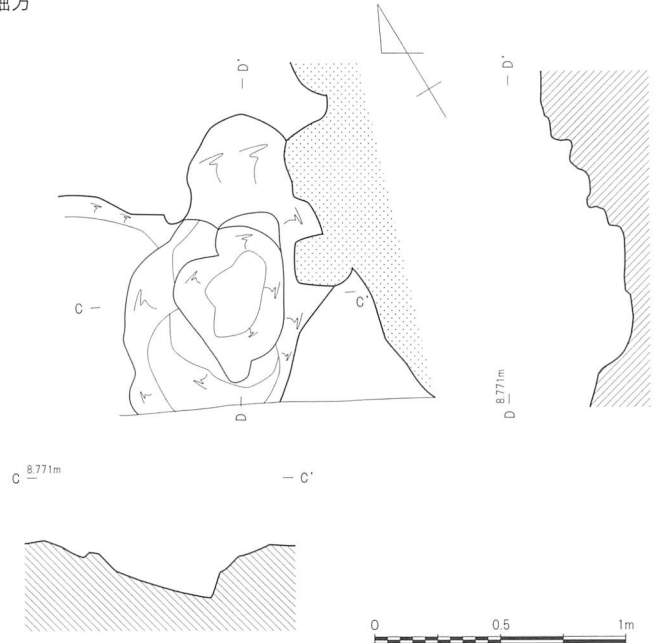
カマド B-B'

1. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、1～5mm 焼土少し含む、焼土と20mm 大ロームブロックをわずかに伴う、黒褐色土（直径 50mm）は根攪乱
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土含む、1～5mm 焼土やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、被熱したローム土多く含み、黄色味がかかる、最大 30mm、平均 3mm 以下焼土多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性やや弱、黒褐色土混じりのローム土主体、15mm 大ロームブロック少し含む、貼床構築土

H59 号住居跡 A-A'

- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土多く含む表土
 - I b. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック・灰色粘土・礫など含む表土及び攪乱
 - II. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、10mm 大ロームブロック・ローム粒・焼土わずかに含む、下部にしみ状の黒褐色土含む
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム土を下部にやや多く含み、色調明るい、2mm 以下ローム粒・15mm 大焼土少し含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多、灰色味がある
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・5～10mm ロームブロック少し、5mm 大焼土わずかに含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土少し含み、色調明るめ、2mm 以下ローム粒少し、10mm 大ロームブロック・5mm 大焼土少し含む
 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土含み、黄灰色味あり、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
 6. 赤褐色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土ベースに 5mm 以下焼土多く含む
 7. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、1～3mm 焼土少し含む
 8. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む、周溝覆土か？
 9. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む
- 9' H59 住カマド1層に同じ
10. 褐灰色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土多く含む、2mm 以下ローム粒やや多く、2～10mm 焼土少し含む
- 10' H59 住カマド5層に同じ
11. 黒褐色土 締り強、粘性やや弱、20mm 大、もしくは 3mm 以下で被熱・硬化したローム土多く含む
 12. 暗褐色土ベース 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒主体
 13. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム混じりの黒褐色土、5mm 大ロームブロックやや多く含む、ロームブロック主体の貼床に貫入するように堆積する
 14. 黒褐色土ベース 締り強い、粘性有、ローム混じりの黒褐色土ベースに 20mm 以下ロームブロック主体、5mm 以下焼土少し含む、貼床構築土

掘方



B-B'

1. 暗褐色土 表土 締り強、ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒やや多く含む
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒均一に少し含む、10～15mm ロームブロック少し、1～10mm 焼土わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、10mm 大ロームブロックわずかに含む
3. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック主体、ローム粒を伴う黒褐色土がすきまを埋める、貼床の土
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロック・2mm 以下ローム粒やや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1～10mm 焼土・2mm 以下ローム粒やや多く、20mm 大灰色粘土少し含む
6. 褐灰色土ベース 締り強、粘性有、25mm 以下ロームブロック・5mm 以下焼土・しみ状の灰色粘土やや多く含む
7. 褐灰色土 締り強、粘性有、30mm 以下ロームブロック主体、ベースの土はロームを多く含み、黄色味強い、2～3mm 焼土少し含む
8. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土を均一に少し含む、10～15mm ロームブロック・5mm 大粘土・土師片をわずかに含む
9. 黒褐色土 締り有、粘性有、ビット状のおこみ、2mm 以下ローム粒多く、5mm 大ロームブロック少し含む
10. 黒褐色土ベース 締り強、粘性強、5～10mm ロームブロック・焼土やや多く含む点で6層に似るが、粘土を伴わない

C-C'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、5～10mm ロームブロック少し、3mm 以下焼土少し、土師片含む（様相は住居跡覆土）
2. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、灰色粘土多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mm 褐色味強い、ロームブロックを多く、5mm 以下黒色土やや多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土混じりの粘土主体、5～10mm ロームブロック多く含む
5. 暗褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、15mm 以下ロームブロック粒主体
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 大ロームブロック・2mm 以下ローム粒少し、1mm 焼土わずかに含む、1層より締り強い
7. 黄褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下のロームブロック多く含む、ロームの緻密な堆積、10～15mm 粘土混じり黒褐色土ブロック少し含む
8. 黒褐色土 締り有、粘性有、10～20mm ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒少し、焼土わずかに含む
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む、ロームまじりの黒褐色土ベース（他遺構でみる周溝覆土に似る）
10. 黒褐色土ベース 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック・ローム土多く含む

D-D'

1. 褐灰色土 締り有、粘性有、灰色粘土主体、黒褐色土・ロームブロック混じり、2mm 以下焼土少し含む、ビット状の繰り返し
2. 褐灰色土 締り強、粘性有、10～30mm ロームブロック・5mm 以下ローム粒多く含む、5mm 以下焼土少し、上面に3～10mm 焼土多く含む

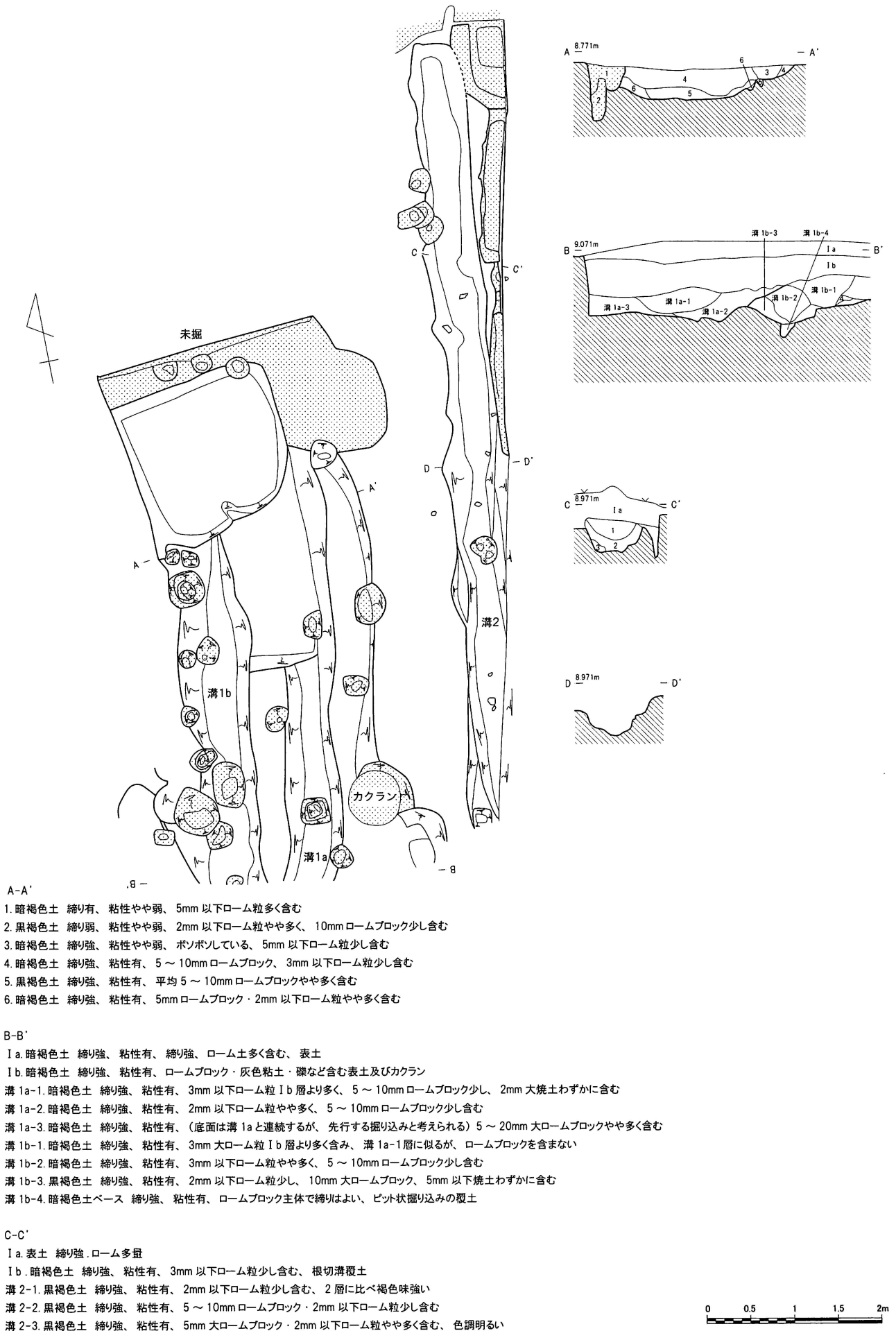
E-E'

1. 褐灰色土 締り強、粘性有、しみ状の灰色粘土含み、黄灰色味あり、10mm 大焼土・3mm 以下焼土粒多く、2mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く、10mm 大焼土・3mm 以下焼土粒少し含む

堀方



第 35 図 川崎遺跡第 29・30 地点 H59 号住居跡掘方・遺物出土状況図 (1/60)

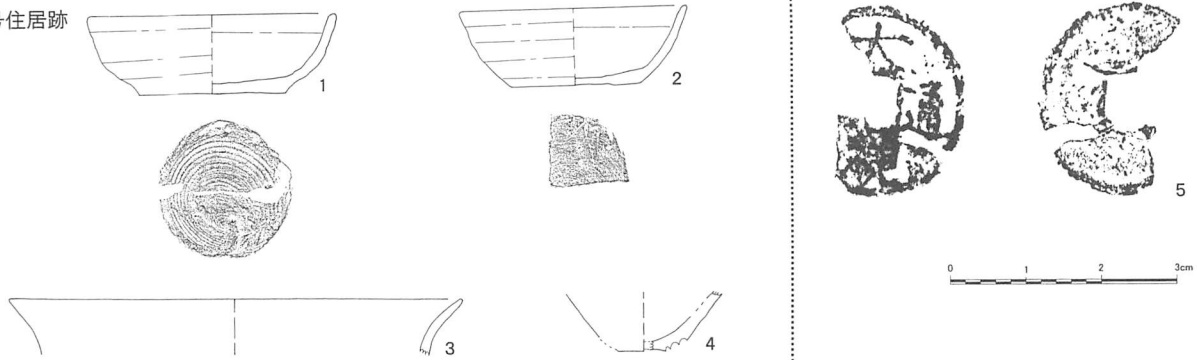


第36図 川崎遺跡第29地点溝1・2 (1/60)

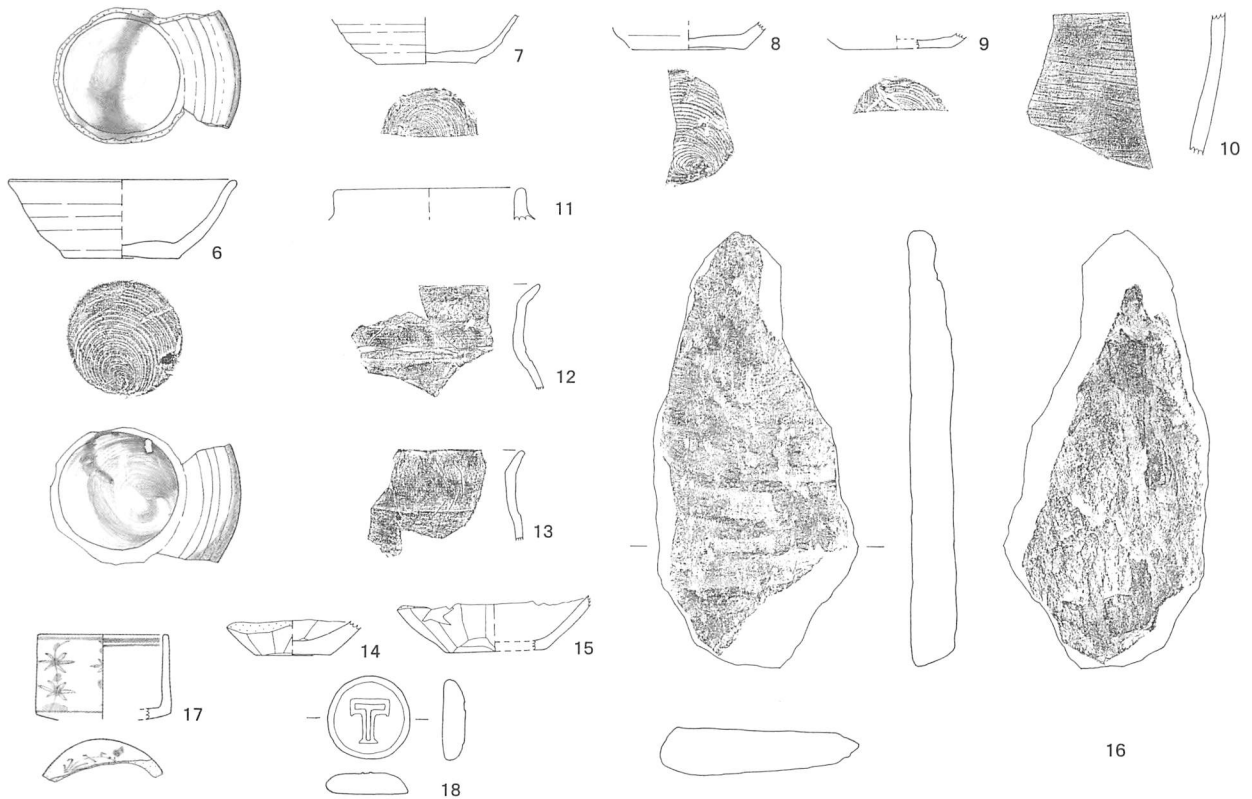
第 17 表 川崎遺跡第 29 地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
37 図	1	H58 号住居跡	須恵器・環	(13.1)	7.6	4.2	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 暗灰黄色 / 砂粒 (～0.5mm) 多量含む / 注№ 15、17 (旧 H33 号住)	東金子	9C 前半	1/2 以上残存
	2	H58 号住居跡	須恵器・環	(12.2)	6.8	4.1	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ 6、11 (旧 H33 号住)	南比企	9C 前半	1/4 以上残存
	3	H58 号住居跡	土師器・甕	(21.0)	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で / 橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量、輝石含む / 注№ 1 (旧 H33 号住)		9C	胴脚接合部
	4	H58 号住居跡	土師器・ 台付甕	—	—	—	粘土紐積上。内外面刮削 / にぶい赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量、輝石含む / 胴部に煤付着 / 注№ H1 (旧 H33 号住)		9C	胴脚接合部
	5	H58 号住居跡	銭貨・銅貨	外径 2.55	孔径 0.69	0.16	重 1.18g。铸造 / 大観 (通) 寶、小平銭 / 注№ P1 (旧 H33 号住)		1107 年初鑄	1/2 以上残存
	6	H59 号住居跡	須恵器・環	(12.2)	6.8	4.1	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 暗灰黄色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 口縁部及び底部内外面の一部に煤付着 / 注№ 4、H1 (旧 H36 号住)	東金子	9C 前半	1/4 以上残存
	7	H59 号住居跡	須恵器・環	—	(5.2)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ 28 (旧 H34 号住)	南比企	9C 前半	底部
	8	H59 号住居跡	須恵器・環	—	(6.0)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / にぶい黄橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ H1 (旧 H36 号住)	東金子	9C 前半	底部
	9	H59 号住居跡	須恵器・環	—	(5.6)	—	轆轤成形。底部右回転糸切後未調整 / 灰色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ 49 (旧 H34 号住)	東金子	9C 前半	底部
	10	H59 号住居跡	須恵器・甕	—	—	—	粘土紐積上、外面叩き締め / 灰黄色 / 砂粒 (～3mm) 多量含む / 注№ カマド № 1 (旧 H36 号住)	南比企	奈良・平安	胴部片
	11	H59 号住居跡	須恵器・ 短頸壺	(10.2)	—	—	轆轤調整 / 灰色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ カクラン 2 (旧 H34 号住)	南比企	9C	胴部片
	12	H59 号住居跡	土師器・甕	—	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のへら削り / 橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ 30、40 (旧 H34 号住)	東金子	9C	口縁部片
	13	H59 号住居跡	土師器・甕	—	—	—	粘土紐積上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のへら削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量含む / 注№ 24、59 (旧 H34 号住)		9C	口縁部片
	14	H59 号住居跡	土師器・甕	—	4.0	—	粘土紐積上。内外面縦方向のへら削り / 橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量 / 注№ H3 (旧 H36 号住)		9C	底部片
	15	H59 号住居跡	土師器・甕	—	5.2	—	粘土紐積上。内面縦方向、外面横方向のへら削り / 橙色 / 砂粒 (～1mm) 多量 / 注№ 3 (旧 H36 号住)		9C	底部片
	16	H59 号住居跡	石製品・板碑	(22.7)	(9.6)	2.0	重 807g / 裏面に横方向の工具痕 (幅 1.4cm) / 注№ H3 (旧 H36 号住)		中世	
	17	H59 号住居跡	磁器・筒茶碗	(7.0)	—	—	轆轤成形 / 染付け。外面草花文。口縁内面二重圈線 / 注№ カクラン (旧 H34 号住)	肥前	1810～ 1840 年代	1/4 以下残存
	18	H59 号住居跡	ガラス製品・ 石蔵り	4.4	4.4	1.2	型押成形 / 緑色半透明 / 「T」字形の型押文様 / 注№ H2 (旧 H36 号住)		1910～ 1930 年代	完形
	19	溝 1	土師器・甕	—	(4.0)	—	粘土紐積上。内外面縦方向のへら削り / 明赤褐色 / 砂粒 (～1mm) 多量 / 注№ 1M1		9C～10C	底部片
	20	溝 1	陶器・志野皿	(13.0)	—	2.7	轆轤成形 / 長石釉 / 淡黄色 / 注№ 1M ベルト	瀬戸・美濃	16C 末～17C 代	1/4 以下残存
	21	溝 1	磁器・燗徳利	—	(5.7)	—	轆轤成形 / コバルト染付け / 注№ 1M1	肥前	1870 年代～	底部片
	22	溝 2	縄文土器・鉢	—	—	—	LR 縄文を横位に施文 / 胎土に食物繊維含む / 注№ 2M2		縄文前期・羽状 縄文系	胴部片
	23	溝 2	縄文土器・鉢	—	—	—	LRL 縄文を横位に施文 / 胎土に食物繊維含む / 注№ 2M2		縄文前期・羽状 縄文系	胴部片
	24	溝 2	須恵器・碗	—	6.8	—	轆轤成形。底部右回転糸切後、高台貼付け / 内外面割れ口含め煤付着 / 暗灰黄色 / 注№ 2M № 10	不明	9C 後半～10C	底部片
	25	遺構外	須恵器・皿	(17.0)	—	—	轆轤成形。底部回転糸切後未調整 / にぶい黄橙色 / 砂粒 (～5mm) 多量含む / 注№ 根切り溝	不明	9C～10C	1/4 以下残存
	26	遺構外	陶器・土瓶	—	5.8	—	轆轤成形 / 灰釉 / 底部煤付着 / 灰黄色 / 注№ H8		近代	底部片
	27	遺構外	磁器・急須蓋	(6.0)	—	—	轆轤成形 / コバルト染付け。網目文様 / 注№ H2		1870 年代～	1/2 以下残存
	28	遺構外	磁器・小杯	(6.6)	(3.0)	4.0	轆轤成形 / クロム青磁 / 明緑灰色 / 注№ H2		1890 年代～	1/2 以下残存
	29	遺構外	磁器・小杯	(7.6)	(3.8)	3.5	轆轤成形 / 銅版絵付け、緑色 / 注№ 1D		1890 年代～	1/2 以下残存
	30	遺構外	陶器・皿	—	(8.8)	—	轆轤成形。付高台 / 高台内側除き灰釉 (黄瀬戸釉)。内面型押し。外面沈線 / 浅黄色 / 注№ H3	瀬戸・美濃	17C 後半～ 18C 前半	底部片
	31	遺構外	磁器・皿	—	(8.8)	—	轆轤型打成形、輪花、蛇ノ目凹型高台 / 染付け。内面楼閣山水文 / 焼継。高台内に焼継印「φ」有 / 注№ H1	肥前	1780～ 1860 年代	底部片
	32	遺構外	土器・鉢	—	(30.0)	—	轆轤成形 / 橙色 / 赤色粒子 (～1mm)、金雲母 (～0.5mm) 多量 / 注№ 1D		近世	口縁部片
	33	遺構外	土器・焙烙	—	—	—	轆轤型打成形。底部縮緬。口縁は内填する / にぶい橙色 / 輝石 (～0.5mm) 多量 / 外面煤付着 / 注№ 1D		18C 後半	口縁部片

H58 号住居跡



H59 号住居跡



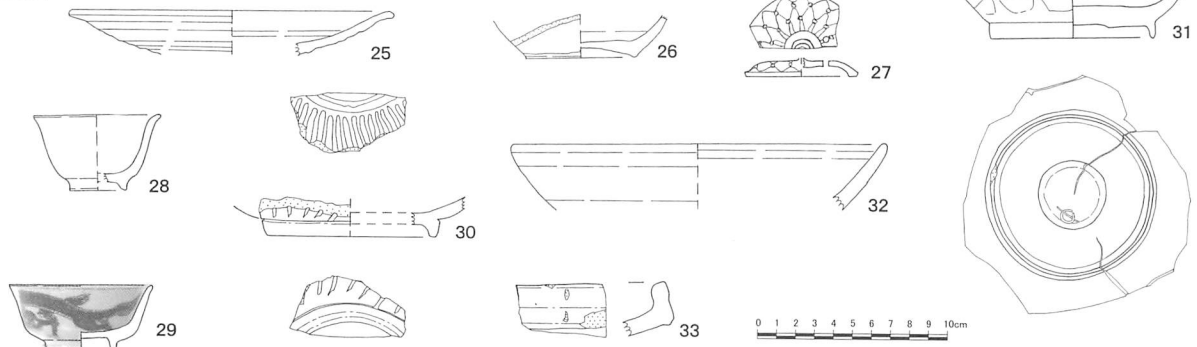
溝 1



溝 2

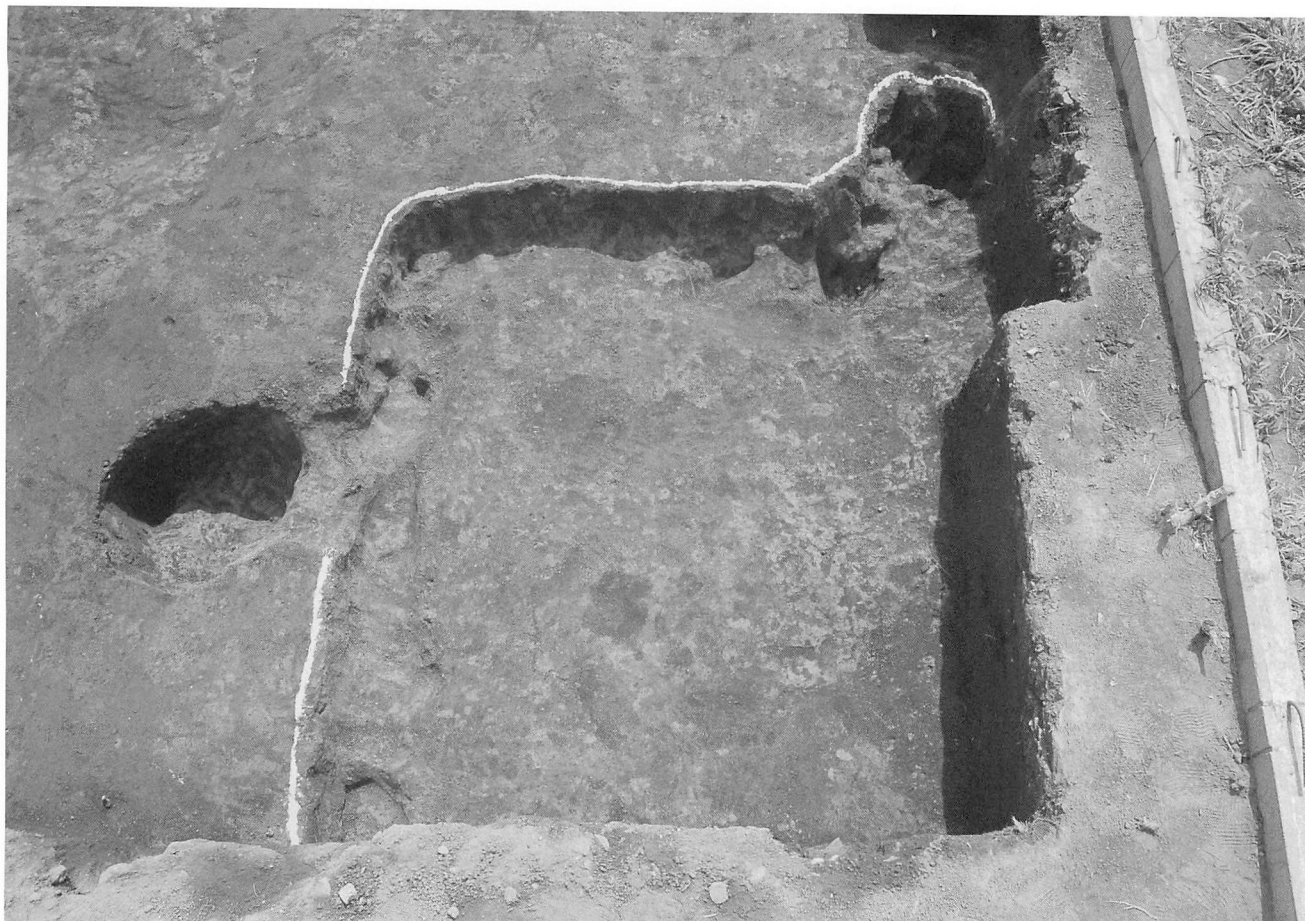


遺構外



第 37 図 川崎遺跡第 29 地点 H58・H59 号住居跡・溝・遺構外出土遺物 (1/1・1/4)

川崎遺跡第 29 地点 (1)



川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡



川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡竈



川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡掘方

川崎遺跡第 29 地点 (2)



川崎遺跡第 29 地点 H59 号住居跡



川崎遺跡第 29 地点 H59 号住居跡北側



川崎遺跡第 29 地点 H59 号住居跡竈



川崎遺跡第 29 地点 H59 号住居跡南側

川崎遺跡第 29 地点 (3)



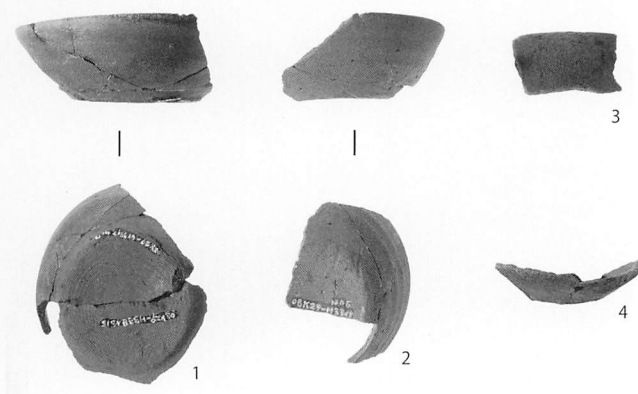
川崎遺跡第 29 地点溝 1・2



川崎遺跡第 29 地点溝 1・2



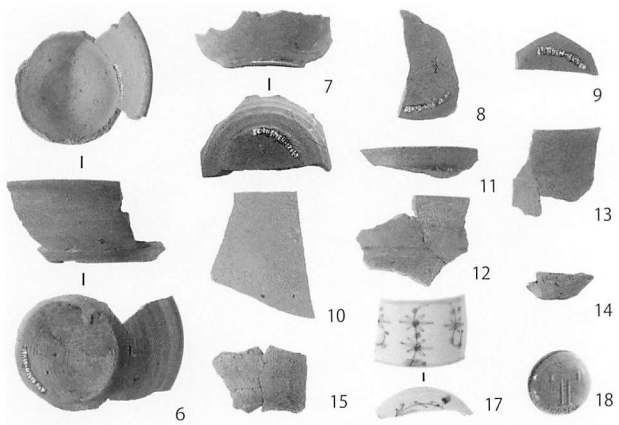
川崎遺跡第 29 地点溝 2



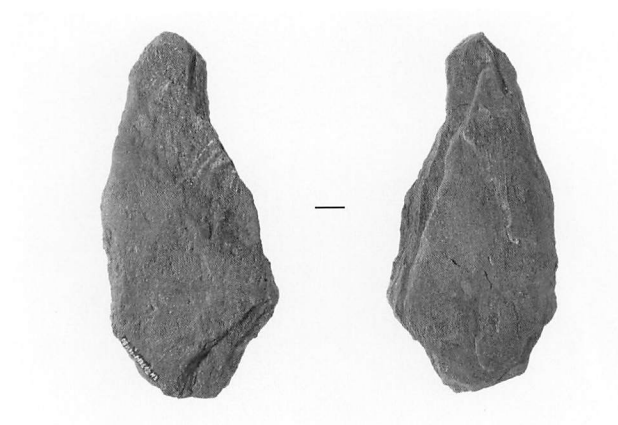
川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡出土遺物 No.1 ~ 4



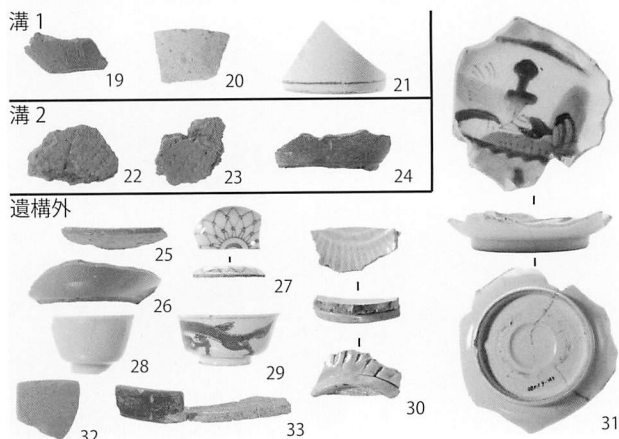
川崎遺跡第 29 地点 H58 号住居跡出土遺物 No.5



川崎遺跡第 29 地点 H59 号住居跡出土遺物 No.6 ~ 15・17・18



川崎遺跡第 29 地点 H59 号住居跡出土遺物 No.16



川崎遺跡第 29 地点溝 1・2、遺構外出土遺物 No.19 ~ 33

報告書抄録

書 名	市内遺跡群 6		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 7 集		
編 集 者	高崎直成		著 者	高崎直成		
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒 356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目 1 番 1 号 TEL 049 (261) 2811		
発 行 日	2011 年(平成 23 年)11 月 30 日					
所収遺跡地点名	所 在 地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因
		遺跡コード	東経	調査終了	m	調査担当者
	種別 / 主な時代・主な遺構・主な遺物					
	特記事項					
川崎遺跡第 25 地点	川崎 203-1、203-3 の一部	112453	35° 53' 22"	20080414	55	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080417		高崎直成
	集落跡 / 平安時代・掘立柱建物跡 1 棟、近世・溝 1 条、地下室 1 基・縄文土器、灰釉陶器、土師器、須恵器、近世陶磁器					
	古代集落の北端で掘立柱建物跡を検出					
川崎遺跡第 26 地点	川崎 230-5	112453	35° 53' 17"	20080421	228	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 12"	20080517		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 4 軒、土坑 6 基、ピット 20 基、近代以降の井戸 1 基・石器、土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 27 地点	川崎 1-7-1	112453	35° 53' 06"	20080515	112	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 05"	20080521		坪田幹男・高崎直成
	集落跡 / 時期不明の溝 1 条、土坑 1 基					
	東西に続く溝の一部を検出					
川崎遺跡第 28 地点	川崎 230-7	112453	35° 53' 17"	20080704	160	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080808		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、土坑 2 基・土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 29 地点	川崎 230-1	112453	35° 53' 18"	20080709	108	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080822		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、溝 3 条・土師器、須恵器、石製品、銭貨、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出					
川崎遺跡第 30 地点	川崎 230-6	112453	35° 53' 17"	20080717	200	個人住宅建設
		25-003	139° 31' 13"	20080905		越村篤
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 4 軒、井戸 3 基、土坑 4 基、溝 5 条・縄文石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、銭貨、近世陶磁器					
	古代集落の中央で住居跡群を検出。墨書土器検出					
ハケ遺跡 C 区第 8 地点	福岡 3-2069-9	112453	35° 53' 06"	20090317	11	個人住宅建設
		25-005	139° 31' 21"	20090317		高崎直成
	集落跡 / 縄文時代住居跡確認・縄文土器					
権現山遺跡第 23 地点	滝 1-6-7	112453	35° 52' 49"	20081023	12	古墳整備
		25-009	139° 31' 40"	20081029		坪田幹男・市丸靖子
	集落跡 / 時期不明土坑 3 基、集石 1 基					
亀居遺跡第 63 地点	亀久保 2-13-5	112453	35° 51' 51"	20080917	312	モデルルーム
		30-030	139° 30' 28"	20081015		高崎直成
	集落跡 / 縄文時代竪穴住居跡 1 軒、土坑 3 基、ピット 29 基、近世以降の溝 1 条・縄文土器					
松山遺跡第 45 地点	築地 3-4-7 の一部外 6 筆	112453	35° 52' 20"	20080904	390	道路築造
		25-010	139° 31' 51"	20081023		越村篤・高崎直成
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡 2 軒、掘立柱建物跡 2 棟、時期不明の溝 10 条、溝状遺構 3 基、ピット 4 基・土師器、須恵器					
	建材と思われる「クリ」と「イネ科」の炭化材が出土した焼失住居跡を検出					